



国民春闘共闘

第 39 号

2017 年 7 月 24 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

全国一律最賃制確立、最低賃金引き上げ

7.15 最賃・ディーセントワークデー行動

国民春闘共闘委員会・全労連・東京春闘共闘会議は、7月15日（土）を中心に全国一律最賃制確立、8時間働けば人間らしく生活できる最低賃金への引き合上げ、安倍「働き方改革」の欺まんを明らかにし、長時間労働規制を求めて、全国30都道府県で宣伝行動・デモなどを実施しました。

東京・新宿西口宣伝～50人を超える仲間で宣伝



小田川国民春闘共闘代表幹事は「今日日本では、過労死するような働き方が蔓延し、残業が当たり前の社会になってしまっています。その上、時間によらない働き方を政府が指導する異常な状況になっています。労働時間は1日8時間が基本、『安倍働き方改革』反対のたたかいに是非参加を呼びかけます。さらに、世界の流れは最低賃金を引き上げる方向に動いています。最低賃金を今すぐ1,000円へ。そして1,500円の早期

実現をと声を上げ、行動をご一緒におこしてください」と訴えました。

映演労連の梯書記長は、「映画館収入は最高記録を打ち立てていますが、アルバイト募集を見ると940円から950円です。アニメーターの仕事は、いくら好きでやりがいがあると言っても実際に働いた時間で割ると時給400円で、暮らせる訳がありません」と実態を報告。

東京医労連の寺田さんは、「介護報酬の低さから、圧倒的に現場を支えている人は非正規労働者です。賃金実態は最低賃金に張り付いた状態で、これでは介護に人は集まりません。人間らしく働ける条件の確保をちゃんと国がすべき」と訴えた。

社会学者の本田由紀先生は、「日本社会の状況は悪化を遂げています。生活の苦しさから生活保護や奨学金などの制度を利用する層は増えています。国際比較では、悪い数値として相対的貧困率・長時間

労働者比率・高等教育費用の私費負担率・自殺率。良い方が望ましい数値としての最低比率である最低賃金額は、先進諸国では最低水準です。1人当たりの労働生産性が非常に低い、生活満足度や幸福感、女性が社会で活躍できる度合いなどに関しては、あきれるほど低い数字が繰り返し報告されています。変化で見てもどんどん悪い方向に進んで来ています。90年代の社会構造の破たん、経済の低迷、新卒採用の削減、非正規労働者の活用、格差と貧困の顕在化があげられます。政府は労働市場の規制緩和、社会保障をさらに削減し人々の窮状をより悪化させるように動いてきました。政策上の失敗を覆い隠し、人々の生活の鬱屈を抑え込むため、人々の生活を助けるどころか、『自分で生きろ』『国の役にたて』と一方的に押し付けてきます。仕事と家族と教育の関係を組み替えて、現在の労働市場のゆがみを是正していくために、広い労働者が声を上げることで正していく。もっとも重要な事は、最低賃金の引上げを目指していく運動です。『賃金を上げろ』『私たちに正当に評価しろ』『私たちの労働に報いろ』と高く大きくしていく必要があります」と連帯のメッセージを語ってくれました。

全印総連東京の小澤さんは「印刷通販職場では、365日24時間ネット注文で1日12時間、8時間4時間残業毎月23万で残業代も出ません。体も賃金も搾取する社会であってはなりません。働きやすい職場をつくりましょう！時給1,000円、1,500円を目指しましょう！残業代ゼロ法案なんてまっぴらです！」と呼びかけました。

全国一般東京地本の室井さんは「皆さんの賃金は上がっていますか？政府が責任を持って時給1,000円にしようと決断すれば出来るんです。皆さん一緒に声を上げていきましょう」と呼びかけました。

Aequitas（エキタス）の原田さんは「最低賃金を1,500円にしろとデモをしたり、SNSで発信しています。フルタイム働いて24万円では全然高くないです。若者は悲惨な状況になってきています、正社員の月給制でもらっているが、時給で割り戻すとサービス残業していると最賃を切っている状況。最低賃金1,500円にしてゆがんだ労働市場を正していきましょう」と連帯挨拶。



京本社前、水道橋、後楽園遊園地を経由して礪川公園まで、「最低賃金を上げろ！」「1,500円に引き上げろ！」とアピールしました。

秋田～反応良好の宣伝行動

秋田でも、気温30度を超える猛暑の中、統一行動に結集し、最賃引上げ・労働法制改悪阻止を訴え

東京・文京最賃デモ実行委員会

文京最賃デモ実行委員会は15日、区内初の「最賃1500円を求める7・15文京最賃デモ」を取り組み、春闘共闘の組合員ら50人が参加しました。

猛暑の昼下がり、東京ドーム脇の後楽公園で出発集会。主催者を代表して大谷区労協議長が「人間らしく生きるために、最低賃金の時間額を1,500円に引き上げよう」と呼びかけました。先輩格の新宿区労連から激励あいさつを受けてデモ行進へ。飯田橋、トヨタ東



るディーセントワークデー行動を行いました。観光客も混じる駅前を通行される皆さんに「最賃を上げましょう」「働きすぎを解消しましょう」とビラを配布、署名を訴えました。ショッピングセンターの入り口に立って、ハンドマイクの訴えを聞き続けられる方や、通り過ぎた方が戻ってきて署名をされるなど、反応良好の宣伝行動となりました。

神奈川～最低賃金1500円！過労死合法化の働き方改革反対！

集会では、主催者を代表し福田裕行神奈川労連議長が「6年前に国を相手に裁判を起し、今は時給1,500円ないと自立も生活も親元から出ることもできない。今年の最低賃金大幅引上げを実現しよう。安倍政権の働き方改革ノー、働きすぎはごめんだぜ、と言いたい」と挨拶。

神奈川過労死等を考える家族の工藤祥子さんが「教師は時間外勤務が認められず、私の夫

も過労で亡くなった。いくら残業してもいいという高度プロの労使合意は許せない。最低賃金は生きるため、仕事は死ぬためのものでない。声を上げないと変わらない」と訴えました。

最低賃金裁判の原告団代表の猪井伸哉さんも「先進国並みの時給1,500円をと声を大にして言いたい」と訴えました。伊藤ひろたか横浜市長候補もかけつけ「非正規の状態を変えねばならない。自治体が声をあげることで働き方を変えたい」と語りました。集会後、コテコテにデコレーションしたダンプカーを先頭に、約250人のリズムを刻んだコールが、市民や観光客でにぎわう横浜みなとみらい地区に響き渡りました。「いいね」、「実現して」、「がんばれ」などと沿道から声がかかり、外国人の旅行者も含め、多くの人が写メや反応がありました。



京都～祇園祭りに、うちわで宣伝行動



京都総評では、全労連の呼び掛ける7・15ディーセントワークデーに呼応し、祇園祭の宵々山でにぎわう四条烏丸交差点で、「最低賃金1,500円への引き上げ、今すぐ1,000円に」と呼びかけるうちわを配布しました。

鉾町界隈が歩行者天国になる18:00をスタートに31人の参加で行われたうちわ宣伝は、祭りに参加した方々から「こっちもちょうだい」「こっちは3本」など、次々にうちわを受け取り、用意した4,000本のうちわはものの20分ほどですべてなくなりました。

受け取られた方々は、最賃の引き上げを訴えるうちわをパタパタさせながら、宵々山の賑わいを練り歩き、受け取った方だけでなく、周りの人たちにもその訴えが目に入る、しかも物がうちわなだけに家にも持ち帰るという、二重三重に宣伝効果のある取り組みになりました。

滋賀～ツイッターをみた若者が参加

安倍政権にもう一刻も我慢できない、と14日、JR草津駅前全国に連帯して『安倍政権に退陣を求める緊急デモ』を行った。小集会で参加者によるリレートークを行った後、商業施設の外周を1時間弱デモ行進しました。

「安倍政権は今すぐ退陣」「学園問題の説明を」「戦争法、共謀罪の廃止」「憲法守れ」など若いリズムに乗って訴えました。憲法共同センター内外から30人が参加、センターメンバーのグループのTwitterを見て駆けつけた若い参加者が複数参加。



札幌～非正規ではたらく仲間の全道集会とサウンド・デモ



道労連は15日、非正規ではたらく仲間の全道集会を札幌市内（かどる2.7）で開催しました。11単産・6地域からと学生や一般参加者12人を含めて100人を超える参加があり、「非正規労働者に労働組合を」というテーマで交流しました。集会では、北海学園大学教授の川村雅則さんが「なぜいま無期転換と最賃引き上げが重要なのか」をテーマに基調講演しました。川村教授は、そもそも恒常的に必要な仕事を「有期雇用」で賄うという不条理こそ正されなければいけないとし、非正規雇用の

問題点として「①有期で不安定な雇用、②妥当性を著しく欠く低賃金。③集团的労使関係からの排除」をあげ、無期雇用転換の確実な履行と労働組合に迎え入れることが重要と強調しました。

非正規労働者の雇用の安定、処遇の改善を図るには、非正規労働者の「当事者が労働組合で声を上げること」以外にないことが多くの発言者から強調されました集会の最後に「最賃上げろ！サウンド・デモ」を実施。

晴れ上がった札幌大通り公園付近では、ビアガーデンの若いアルバイト？店員が「最賃1500円に上げろ！」「いますぐ上げろ！」のコールに「そうだ！」と手を振り返し応援。途中、高校生5人が飛び入りするなど元気にアピールしました。

STOP暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化